

竹灯籠に彩られたステージで地元住民に演奏を披露する静岡大の学生＝静岡市駿河区のふじのくに地球環境史ミュージアム



大谷地区の魅力満喫

駿河区 静大生と住民交流

静岡青年会議所は4日、静岡市駿河区大谷地区で地域住民が街の魅力を楽しむ「大谷まちなみ竹あかり」を初めて開いた。ゲーム形式で地域を巡るオリエンテーリングや、竹灯籠をともすイベントで、静岡大の学生や住民ら地域に暮らす異世代が交流を深めた。

(社会部・杉崎素子)

同地区のふじのくにがデザインした秋の富地球環境史ミュージアム土山が浮かび上がった。同地区の特設ステージでは、同大の太鼓サークルや邦楽部の学生が演奏を披露して住民を楽しませた。ステージには地元の有度山から伐採した竹で製作した灯籠を設置。太陽が沈むと、同大美術部の学生がデザインした秋の富地球環境史ミュージアム土山が浮かび上がった。写真は撮影しながらゲーム形式で地域を回るオリエンテーリングや2階建てバスで地元を巡るツアーには、親子連れも多数参加した。